

WAO! 輪を



【わ・リレーコラム】

第11走者は！・・・泉佐野泉南歯科医師会 会長

泉佐野市・小川歯科 **小川 秀三** 先生です。



泉佐野泉南歯科医師会は平成30年までに在宅歯科ケアステーション（在宅歯科医療における医科や介護等の他分野との連携を図るための窓口）を設置します。

現在は、10:30~15:00までの間、歯科医師会事務局（072-469-0802）に於いてお近くの訪問診療可能な歯科医院の紹介や 歯科に関するご相談等をお受けしております。また、地区歯科医師を対象に、資質の維持・向上のための研修会や他職種に向けた講演会等も開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

アンケートの結果（在宅医療に関して__介護支援専門員編）

本年2月に、当医師会圏域の居宅介護支援事業所（総数142機関）に対して、体制規模や医療機関との連携状況についてアンケートを依頼し、74施設（52%）から回答を頂きました。平成27年1月分を基準に、ケアプラン数は、74施設で総数5,356件（1施設あたり72件）。そのうち在宅に関するケアプランの取扱いは74施設中の66施設で、取扱い総数は3,338件（1施設あたり50件）となっています。

その在宅ケアプランのうち訪問看護を利用している施設は55施設あり、取扱い総数は413件（1施設あたり8件）となっています。

在宅ケアプランに関して、各事業所と医療機関、訪問看護ステーションとの関わりについても調査しました。

医療機関との関わりについては、74事業所に対して73医療機関との関わりがありました。訪問看護ステーションについては、39ステーションとの関わりがありました。

ケアマネジャーは1人当たりの担当症例数は多く、在宅に移行する場合はほぼ100%介護保険を利用するので、ケアプラン作成が医療・看護の開始に先立つ第一歩です。この1番バッターとも言える職種であるケアマネジャーが“かかりつけ医による在宅医療”を意識して活動してもらうことも今後の在宅医療チームの円滑な連携に必要な不可欠であると考えられます。

（地域連携室 室長 松若良介）

■在宅医師チーム立ち上がりました！！（泉南チーム、阪南・岬チーム）

訪問診療体制を少しでも構築する活動として、医師同士（主治医・副主治医制）でチーム発足をいたしました。在宅医療を検討の際は、ぜひ一度ご相談ください。

泉南チーム・・・松本内科胃腸科 松本英一先生（世話人）

阪南・岬チーム・・・松若医院 松若良介先生（世話人）

※在宅チームの詳細については、医師会地域連携室（在宅医療コーディネーター）等にお尋ねください。

「今月のWAO!さん」からのメッセージ

【泉佐野泉南医師会 地域連携室 コーディネータ】 中西 賢さん

昨年度から医師会地域連携室の一員として、医療コーディネーター業務に携わっております。普段は、りんくう総合医療センターの地域医療連携室として、病診連携・病病連携業務に関わっております。在宅医療を推進していく上で、病院は重要な役割を担っています。「入院から在宅へ帰っていただく際の調整・支援」と「緊急時の受け入れ体制の確保」が求められます。病病連携協議会の開催など、病院間で更なる連携を深め、病診連携・病病連携、および在宅医療の推進に役立てるよう努めてまいります。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。

【賛同機関】泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南歯科医師会、泉佐野薬剤師会、泉南薬剤師会、訪問看護、通所介護、理学療法士、作業療法士、ケアマネ連絡会、病院、6市町行政（高齢介護担当課）・地域包括支援センター、大阪府泉佐野保健所 他